

日本労働総同盟分裂經過概要(其三)

(在席 桂 担任)

一、幹部派の動静

関東地方評議会除名以後、幹部派革新同盟の両派は争うて中立組合の引き入れに努力するも、共に総同盟外動に對しても、自己の立場を有利おらさむべく盛に活

先づ幹部派に於ては、四月二十二日大阪聯合會は委員會を開き、革新運動の不安定であるを聲明し、所屬組合に對して同運動に加盟せる大阪電気労働組合大阪系刷労働組合の二者に之れより脱退すべきを命じ、中央委員會に對しては、革新運動禁壓を要求するに決定し、二十三日には、関東醸造労働組合が野田に幹部會を開いて、革新運動撲滅を聲明し、関東同盟會も同日執行委員會を開いて、革新運動の撲滅を前線同志會の援助とを議決し、前線同志會は二十五日の常任委員會に於て革新